

## 【 臨床研究に関する情報の公開 】

当院の糖尿病・内分泌代謝センターで入院加療を行った患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対するご協力のお願について

項目	内容
1. 研究課題名	ダイアベティス罹患患者におけるサルコペニア粗有病率の実態調査
2. 研究の対象者	2024年1月から2025年10月の期間において当院で糖尿病入院加療を行った50歳以上の方のうち、四肢骨格筋量の測定、握力測定、身体機能測定がすべて実施されている患者さま
3. 研究期間	承認後 ～ 2026年7月31日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施場所：関西電力病院 疾患栄養治療部 研究責任者：茂山翔太 研究分担者：真壁昇、高橋拓也、平澤良和、山崎裕自、山田祐一郎 研究実施機関：なし 資料・情報提供機関：関西電力病院 疾患栄養治療部
5. 本研究の意義・目的	慢性的な高血糖状態は筋量減少や筋力低下、身体機能低下をともなう状態（サルコペニア）の誘因となります。2025年にサルコペニアの診断基準が改訂され、より幅広い年齢層の方を早期に評価し、必要な栄養支援を行うことが推奨されています。しかし、新しい診断基準におけるサルコペニアの粗有病率を調査した研究はほとんどありません。本研究では、50歳以上の糖尿病患者さまを対象としてサルコペニアの粗有病率の明らかとし、糖尿病を有する患者さまのサルコペニア予防に係る栄養計画立案につなげることを目的としています。
6. 研究の方法	2024年1月～2025年10月の期間において当院で糖尿病入院加療を実施した50歳以上の糖尿病患者さまを対象として、サルコペニアの有無を後方視的に調査し、サルコペニアの粗有病率を明らかとします。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、BMI、体組成（四肢骨格筋量、除脂肪量、体脂肪量）、握力、身体機能（SPPBスコア）、血液検査（HbA1c）を電子カルテより収集します。
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	各種データの抽出は外部と遮断された電子カルテ端末を用います。抽出後のデータは同じく電子カルテ端末上のパスワード管理されたフォルダ内に研究公表後5年間保管し、保管期間を終えるとデータ消去します。
9. 個人情報の保護について	情報収集には、診療IDや患者識別コード等を用いることで匿名化されています。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者へ知られたりすることはありません。研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 疾患栄養治療部 真壁 昇
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 疾患栄養治療部 茂山翔太 電話：06-6458-5821（代表）